

ゆりはま議会

第64号

令和元年11月1日 発行
発行:鳥取県湯梨浜町議会



「うまくいったバトンタッチ」
(東郷小学校運動会)

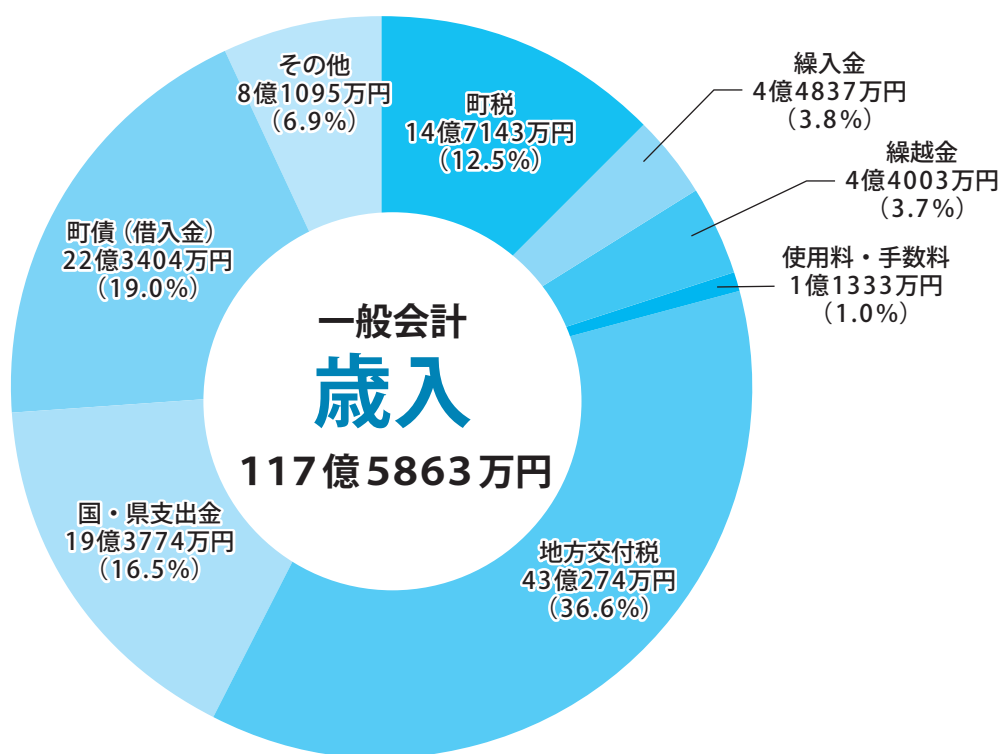
を上回る 新中学校建設に 21 億 円

9月定例会は、9月6日から20日までの15日間の会期で開かれました。

平成30年度決算認定は、決算審査特別委員会を設置し、審議の結果、18会計すべての決算を原案のとおり認定しました。

また、町長から提案のあった補正予算、条例の制定など15議案も原案どおり可決しました。

一般質問では、4人が登壇し、町政全般にわたり町長、教育長に質問しました。



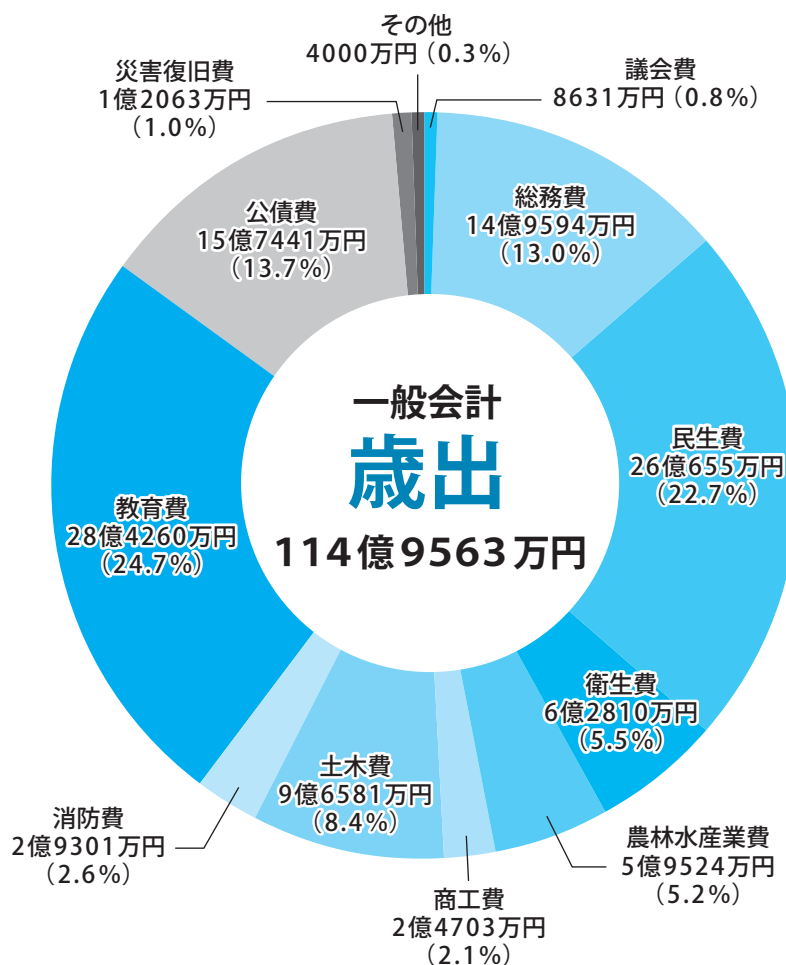
町債 (借金) と基金 (貯金) の状況

【町債 (借金) の残高】

会計名	29 年度末残高	30 年度末残高	増減額
一般会計	122 億 6217 万円	130 億 2517 万円	7 億 6300 万円
特別会計	57 億 6934 万円	53 億 6417 万円	▲ 4 億 517 万円
計	180 億 3151 万円	183 億 8934 万円	3 億 5783 万円

【基金 (貯金) の残高】

29 年度末残高	30 年度末残高	増減額
66 億 6659 万円	63 億 5761 万円	▲ 3 億 898 万円



平成30年度 特別会計・企業会計の決算状況

【特別会計】

会計名	歳入決算	歳出決算	会計名	歳入決算	歳出決算
住宅新築資金等貸付事業	220万円	220万円	温泉事業	2269万円	2063万円
高齢者及び障がい者住宅整備資金貸付事業	4万円	4万円	下水道事業	11億4319万円	11億1864万円
国民健康保険事業	18億1299万円	18億1042万円	農業集落排水事業	1億7879万円	1億7879万円
後期高齢者医療	1億8088万円	1億8061万円	簡易水道事業	1億2492万円	8927万円
介護保険	18億7422万円	17億9484万円	財(6財産区)	699万円	593万円

【企業会計】

会計名		収入	支出
国民宿舎事業	収益	2億8308万円	2億7040万円
	資本	0万円	8447万円
水道事業	収益	1億9254万円	1億8083万円
	資本	1970万円	9963万円

決算審査 特別委員会

平成30年度の各会計決算認定は、議長と議会選出監査委員を除く10人で構成する決算審査特別委員会での審査に付託されました。主な質疑を紹介します。

ふるさと納税

返礼品確保が課題

問 ふるさと湯梨浜応援基金事業を、まちづくり会社へ委託し、寄付者、寄付額とも増えているが、町内業者の育成などは行われているのか。

答 同社へ委託をし、返礼品の種類も増えている。梨の木オーナー制度、いちご狩りなど、体験型のものも増やしていく。

問 返礼品の確保が課題だが、JAなどの連携はどうしているのか。

答 返礼品確保は委託する前からの課題。JAなどと協議し、町も効果が高まる施策を打つ必要がある。

問 返礼品確保は委託する前からの課題。JAなどと協議し、

量を増やした。

カタログ作成など、町も一緒に取り組んでいきたい。

問 返礼品確保の課題解決として、予約制にしては。

答 年によって生産量、単価の違いもあるが、今後検討したい。

問 返礼品は、納税額の3割以内など、国は基準を示しているが、町の状況は。

答 昨年から検証を進めてきた。現在、国の基準は満たしている。

ゆりはまヘルシーくらぶ

食と運動で健康づくり

問 ゆりはまヘルシーくらぶ会員は、149名で、活動量計のデータチェックにより指導される。

答 タニタの管理栄養士の講演や相談会、測定などのイベントを行った。

食については、町内店舗でヘルシーメニューが提供されているが、特徴ある健康推進はできないか。

食生活や運動は健康推進に有効であり、多くの町民の方に参画していただきたい。



タニタ監修のヘルシーメニュー

海岸漂着ごみ

景観が損なわれる

問 海岸漂着ごみが目立つ。町は、

どのように対応しているのか。

答 春の一斉清掃などで集め、焼却処分しているが、年々増えている。

問 岩場の漂着ごみの撤去は、一般町民

では難しい。

答 町単独での対応は、困難。県と協議をしたい。



撤去が困難な海岸漂着ごみ



梨の葉を使った新商品「なしば茶」

東郷梨連携プロジェクト

今後も継続できるか

問 採算性は取れているか。

答 昨年の梨の品質はあまり良くなかった。

梨の葉を使ったお茶をつくるなど、「梨の葉ビジネス」に取り組んでいる。

問 この事業はあと1年。補助金がなくなっても継続できるのか。

答 新たに「梨の木オーナー制度」が始まった。耕作放棄地の解消に向け、継続を願っている。

水道事業

今後の展開は

問 民間委託も可能になったが、今後の

水道事業の展開は。

答 水道管の布設替えを含め、更新計画を立てたい。民間委託は考えていない。令和4年度には赤字経営になりかねない。当面3～5年の計画で事業展開したい。料金改定を含め、検討委員会設置をし、十分検討したい。

問 人口減少の中で、インフラ投資と料金改定、広域化をどうするのか。

答 中部の人口減少は、上下水道料金に跳ね返る問題。農業集落排水を公共下水に連結させることも早急に検討しなければならない。広域連携は、県が中心となり、東・中・西部で協議会をつくり検討が開始された。



水道管（耐震管）布設工事状況

平成30年度決算審査特別委員会

審査報告(抜粋)

決算審査特別委員会に

付託された、18会計の決算と2会計の剰余金の処分について、すべて原案のとおり認定及び可決しました。

決算審査過程での主な指摘・意見・改善事項を付記して、委員会報告としました。

ふるさと納税

返礼品である農産物の確保が困難な状態である。まちづくり会社任せではなく、町もJA等の生産者と確保に取り組むべきではないか。

小さな拠点

泊地域の活性化をめざし整備計画を示しているが、事業母体・運営主体が決まっていない。目的をはっきりさせ、町民の理解を得て、じっくり取り組むべきである。

生涯活躍のまち推進事業

地域包括ケアシステム構築について、関係課の共通認識が欠けており、対応ができていない。共通認識をもって具体的に進め、地域の皆さんと連携できる形で進んでほしい。

下水道事業

※ストックマネジメント計画作成とあるが、農業集落排水との連携も考えた更新計画を立て、料金などの情報を事前に示してほしい。

レークサイド・ヴィレッジゆりはま団地開発にともなう経費については、町の一般会計からの繰入金収入をもって支弁するよう、会計間の会計処理の明確化が必要ではないか。

決算審査意見

代表監査委員 磯江俊二
議会選出監査委員 光井哲治

専門職の職員の確保について

専門資格を必要とする職員不足が深刻になっている。担当課任せではなく、職員採用担当課を含めた役場内の共通課題として対処する必要がある。

②泊地域小さな拠点づくり事業

目的は、少子化・高齢化が進行する泊地域で住民が生き生きと生活し、地域活性をどうはかるかということである。しかし現状では施設の新築・建て替え計画が中心になっている。

生涯活躍のまち計画の進捗状況の検証

最も大きな課題は、役場内の計画推進体制が未整備状態であること。共通認識をもって施策に取り組み、進展状況を管理していくことが重要である。

③地域包括ケア計画

計画策定から3年経過しているが、全く進展していない。役場内の推進体制構築が急がれる。

①松崎駅前拠点等整備事業

平成30年度にオープンした「ゆるりん館」



決算審査特別委員長の審査報告

令和元年度 一般会計 補正予算

☆一般会計は、歳入歳出それぞれ2億9787万円を追加し、補正後の予算の総額を102億8831万円としました。

主な内容を紹介します。

交通安全確保

・交通安全対策経常経費 109万円

本年度はすでに8カ所のカーブミラーの新設、修繕を実施した。

再度点検を実施し、追加修繕が必要となった。



町民の憩いの場（ハワイゆ〜たうん）

ハワイゆ〜たうん 源泉設備修理

・温泉ふれあい会館施設整備費 309万円

町立温泉ふれあい会館の町有源泉設備が破損し、改修不能となった。

外部源泉を使用するため、給水、給湯設備工事を行う必要があり増額補正する。

優良樹園地を保全

・園芸産地継承システムづくり支援事業 120万円

梨生産活動に使用されなくなった優良樹園地を、やる気のある生産者に引き継ぐための保全活動を支援し、梨生産地の持続的な発展をはかっています。

不妊治療費助成 20件の追加

・不妊治療費助成事業 113万円

鳥取県への不妊治療費助成申請が、大幅に増えた。

当初、湯梨浜町でも20件の申請を見込んでいたが、20件を追加する。

安心できる学校生活に

・東郷小学校管理運営経常経費 40万円

中国籍児童が転入するため、安心して勉強ができるよう、通訳ができる支援員の配置などを行う。

認可保育所開園予定

・保育所整備事業補助金 2154万円

保護者・家庭の就労支援と子育て支援のニーズを受け、来年度から開園予定の認可保育所の施設改修工事及び賃借料を補助し、子育て環境の整備を行う。

条例改正

旧姓で印鑑登録が可能に

・湯梨浜町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

印鑑登録についても、旧姓が併記でき、旧姓の印鑑でも登録ができるよう条例を改正する。

役場で旧姓併記の請求手続きが必要となり、11月5日から受け付け開始。

法令改正により、住民票・マイナンバーカードなどに旧姓が併記できるようになる。



中国語で表記（東郷小学校）

地元の梨を守るプロジェクト事業

☆梨栽培をやめられる農家の梨園を借り受け、梨栽培を引き継ぐ事業。

平成27年度から5年間、梨生産35アール、梨の木オーナー制度15アール、梨の葉ビジネス22アールに取り組んでいる。



全国へ向けて発信しているオーナー園

問 今後の梨づくりをどう考えているのか。

答 企業発想による新しい経営展開を考えている。

問 指導通りの管理になっていないようであるが、果実部と連携は取れているのか。

答 来年以降の体制を確認したい。

問 梨の葉を収穫し、お茶の原料として出荷する、梨の葉ビジネスは、広がりそうなのか。

答 今のところは、実証の域である。

町施設の安全点検は

☆滋賀県の小さな子どもの交通事故を受けて、各自治体が施設の点検・整備を行う。

問 施設のパトロールはどうやっているのか。

答 現場を確認し、修繕を行う。大規模な修繕は、予算化して工事を行う。将来的には、現場の状況をデータ化して管理したい。

問 危険度の高い11カ所の対応状況は。

答 情報を共有し、県道や国道も含め、各部署で連携を取りながら検討している。

自治会の除雪に補助

☆自治会が主体となって実施する除雪活動の経費の一部を補助する。

問 通学路の除雪は対象外か。

答 各集落で除雪計画路線に申請すれば、対象となる。

問 除雪された後に再度積雪があり、除雪した場合は、補助の対象になるのか。

答 補助の対象となる。



出番を待つ除雪機



毎年行われている国際大会
(潮風の丘とまり)

ワールドマスタースゲームズ

日程決定

☆「ワールドマスタースゲームズ2021関西」が、令和3年5月14日から30日までの17日間の日程で開催される。

グラウンド・ゴルフは、5月28日と29日に、グラウンド・ゴルフの聖地、潮風の丘とまりで行われる。

問

発祥地大会は、例年通り行われるのか。

答

例年通り、6月の第2週を予定している。

問

ボランティアの募集も行われるようだが、想定されるボランティアは。

答

多くの学生の方にかかわっていただきたいと思っている。特に通訳が必要だが、これから協議していく。

二極化が課題

☆平成31年度の全国学力・学習状況調査が実施された。

小学校の国語では、国や県平均を下回り、中学校では、全教科とも国や県平均を上回ったが、小学校、中学校とも二極化傾向が見られる。

問

二極化問題をどのように分析し、解消していくのか。

答

成績低位の児童には、小人数単位で理解度を上げる授業をしている。今後、平均値以上の学力をつける取り組みを強化していく。



子育て世帯プレミアム付き商品券

プレミアム付き商品券 子育て世帯にも

問

申請者本人でないで購入できないのか。

答

代理の方は、本人確認と申請者との続柄が確認できるものが必要。

☆役場が販売する住民税非課税者分、子育て世帯分とあわせて、商工会が実施するプレミアム付き商品券の案内を全戸配布した。

役場販売分はすでに申請書を送っており、引換券を対象世帯に郵送する。

引換券を発行するとき案内する。

本会議での採決結果

9月定例会

議案の内容 (○：賛成 ×：反対等)	寺地	浦木	上野	濱中	河田	増井	光井	松岡	米田	竹中	会見	結果
議案第81号 平成30年度湯梨浜町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	賛成7人 可決
議案第88号 平成30年度湯梨浜町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○	賛成7人 可決

※議案の採決は、入江議長を除く11人で行います。

※上記以外の31議案は全会一致で可決及び認定しました。

陳 情 審 査

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳情者	審査結果
ハンセン病元患者家族に対する救済を求める意見書の提出を求める陳情	ハンセン病元患者家族に対する政府の謝罪と賠償を求める会 代表 池原 正雄	採 択
地方財政の充実・強化を求める陳情	湯梨浜町職員労働組合 執行委員長 西川 栄子	採 択 (政府に意見書を提出)
日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	一般社団法人 日本沖縄政策研究フォーラム 理事長 仲村 覚	継続審査
米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	宜野湾市民の安全な生活を守る会 会長 平安座 唯雄	継続審査
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情	鳥取県教職員組合中部支部 支部長 尾崎 豊久 鳥取県高等学校教職員組合中部支部 支部長 谷口 善一朗	採 択 (政府に意見書を提出)

住民と議会の意見交換会

「住民と議会の意見交換会」の日程が決まりました。みなさんのお越しをお待ちしています。

開 催 日	時 間	会 場
11月15日(金)	午後7時	中央公民館 泊分館
11月19日(火)	午後7時	役場羽合庁舎 別館講堂
11月22日(金)	午後7時	中央公民館 本館

一般質問 町政を問う

9月定例会では、4人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

一般質問は、議員が町の事務の執行状況や将来の方針などを町長や教育長に問うものです。

本町議会の質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で、時間内であれば質問回数に制限はありません。

質問者	質 問 事 項	ページ
松岡 昭博	①不登校対策はこれで良いのか	12
	②町民要望への対応は	
濱中 武仁	①子どもの貧困対策推進を	13
	②保育現場のICT活用と教育現場のICT活用は	
米田 強美	①高齢ドライバーに支援を	14
	②子ども・子育てに、さらなる支援を	
増井 久美	①自衛官募集への情報提供は	15
	②日韓関係は話し合いで解決を	



一般質問の様子

不登校対策は これで良いのか

教育長

継続的な個別支援が必要



まつ 松 ひろあき 博



学校復帰に向けて支援する
県教育支援センター

【問】平成30年度の不登校者は、小学校では前年の2・3倍の7人、中学校は1・4倍の25人となっている。

①不登校者は、近年急激な増加傾向にあるが、その原因をどのように考えているのか。

②「新たな不登校者を生まない取り組みを推進する」とあるが、今年度、どのように体制を整え、その効果をどう感じているのか。

③不登校対策の評価は、目的を達成したとある。このような評価で不登校対策ができるのだろうか。

【教育長】①学校生活に起因するもの、虐待などの家庭・親子関係、ゲームなど社会・周辺環境、本人の特性など、さまざまな要因や状況があり、継続的な個別支援が必要。

②未然防止では、学校と連携を深め、授業改善と人間関係の強化に取り組む。また、早期発見・早期対応が重要。福祉など外部機関との連携は進んだ。

③施策の達成状況だけでなく、不登校の出現率、状況の改善なども含めて、評価する方法へと変更することを検討したい。

【問】町内を回っていると、居住環境について、さまざまな改善要望がある。要望の仕方が分からず、放置されている場合がある。

①町への要望方法は、町民にどのように周知しているのか。

②町道などに入り込んでいる樹木や雑草の処理、団地に隣接した荒廃地雑草の処理、交通信号機・横断歩道の設置、道路交差点付近のゴミ置き場の移動について、町はどのように対応しているのか。

町長

速やかな対応に努める

町民要望への対応は



町道に入り込んだ雑草

【町長】①各区长から要望を受理。ほかに、「町民の声」の制度もあり、役場・公民館などに箱を設置。ホームページからメールを送る方法もある。

②草木の処理はシルバー

人材センターなどに委託。

荒廃地は、所有者に適正管理を通知。信号機などの要望は、公安委員会に要望。ゴミ置き場の場所は、基本的に区が決められているので、区での検討が筋だと考える。

子どもの貧困対策推進を

町長

関係機関との連携が課題



はまなか たけとし
濱中 武 仁

【問】平成26年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行され、貧困対策が進められている。本町の子どもの貧困の現状をどう認識しているのか。

法施行後の本町の子どもの貧困状況の推移、また、貧困対策の取り組み状況と課題は。

本年6月に同法の改正が行われ、市町村が子どもの貧困対策計画を定めるよう努めるものとされた。計画を策定されるべきだと思いが対応は。

【町長】生活保護受給者の全員が高校に進学している。ひとり親世帯に限らず家庭状況を把握し、関係機関と連携し切れない支援を行っていくことが、重要課題。

貧困対策計画は、総合計画見直し時に検討する。

【教育長】教育支援として、学用品費及び給食費などの補助、町独自の奨学金制度を設けている。すべての子どもたちが質の高い教育を受け、可能性を最大限に伸ばしていく教育に努める。



役場窓口で気軽に相談を
(写真は子育て支援課窓口)

保育現場のICT活用と 教育現場のICT活用は

町長

業務負担軽減のため検討

【問】保育士不足が問題となっているが、本町の対策は。また、ICT（保育業務支援システム）の導入をどう考えているのか。

文部科学省では、「2020年までにすべての小中学校で、児童生徒一人一台のタブレット端末などのICT環境を整備する」という目標を掲げているが、本町での現状は。

また、プログラミング教育の必修化に向けた本町の取り組み状況は。



プログラミング授業
(東郷小学校)

【町長】保育士の採用は、中部町村会が一括募集し、令和元年度は2名、町独自で5名、計7名を採用。不足が生じた場合、臨時職員・パートで対応する。

保育現場でのICTの活用は、保育士の業務負担軽減、事故防止のため検討する。

【教育長】教育のICT化に向けて5力年計画を策定した。小学校では、

児童用タブレットを40台整備した。今後、計画的に機器整備を進める。

プログラミング教育は、情報活用能力育成の一環で、児童の学習内容の理解を深めていく上で効果的なかどうか、学校と連携しながら取り組んでいく。

※濱中議員は、このほかに「泊駅トイレの改修」について質問しました。

高齢ドライバーに支援を

町長

県取り組みを推進



米田 強 美



シルバーマークは努力義務

【問】①シニアドライバー支援事業で、運転技術の改善、脳機能の上昇など成果を上げている町がある。運転技術が衰えない支援を提案する。

②事故防止の有効手段に、先進安全自動車がある。購入費用の補助制度を提案する。

③公共交通機関の効率的なサービス・運行などの対策や、ネット通販の利用などの生活環境の転換が、運転免許の返納につながると考える。対策を問う。

【町長】①本町でも、ドライブレコーダーを活用した交通安全指導を進めている。記録映像を教材として、町民が集う講習会などで活用していく。

②鳥取県が急発進防止装置の整備助成と、ドライブレコーダーの購入助成をされる。町としては、県の取り組みを推進するため制度の広報に力を入れていく。

③運転免許証返納者に、タクシードライバー助成、バス定期券購入費助成などを実施している。バス路線の確保・維持に努め、利便性の向上をはかる。ネット通販の利用は、研究していきたい。

子ども・子育てに、

さらなる支援を

町長

家庭保育補助の延長を検討



げんき、ゆうき、えがおの運動会
(まつざきこども園)

【問】①子育て支援充実のイメージもあり、若者の移住が進んでいる。幼児教育・保育の無償化で、イメージが薄らぐことを危惧する。その点をどのように感じているか問う。

家庭保育補助の拡充の検討を求める。

②臨時職員が多くを占める保育士。来年度から会計年度任用職員制度が始まるが、どのように対応するのか問う。

③学校給食費の口座振込手数料の個人負担はおかしいとの声がある。公会計制度への移行の検討を求める。

【町長】①幼児教育・保育無償化では、副食費の独自給付を実施する。イメージの薄らぎにつながることはない。

家庭保育補助は、2歳児まで延長を検討したいと思っている。

②現在制度の運用に向けて、賃金や労働条件の内容を検討・調整している。

【教育長】③学校給食費の徴収業務を学校から給食センターへ移管し、口座振替できる金融機関を5つに広げた。振替手数料は金融機関で違いがあるが、昨年度と同様、個人負担でお願いしたい。

公会計制度への移行は、国の制度改正や有利な財政支援が変更になれば検討していきたい。

自衛官募集への情報提供は

町長

自衛隊法の規定により提供



増井 久美

【問】自衛官募集は、町は懸垂幕を提示したり、町報に載せたりして協力していると思われる。

【町長】自衛隊法の規定により、自衛官候補生募集対象者に係る情報を、紙媒体で自衛隊鳥取地方協力本部へ提供している。自衛隊の規定により、不要となった場合は破棄される。

また、その情報提供は、何に基づいて行われているか、誰にどのような形で提供しているのか。その情報は、その後どう処理されているのか。

個人情報の利用目的が、法令などの規定に基づく場合、本人及び本人以外の者の権利利益を不当に害する恐れがない場合、提供が認められている。

また、個人として情報を出してほしくないと思えば、断ることができるのか。

個人情報保護条例に違反して提供されるものではないので、個人情報の提供の停止を請求することはできないと考えている。



自衛官募集のポスター

日韓関係は話し合いで解決を

町長

協議の進展を願う

【問】日韓関係の悪化で、文化交流事業の中止や観光客への影響などが表面化している。

熊本県では、インバウンドの4割が韓国からの観光客で占められているが、定期便の運休が発表され、深刻な影響をもたらしている。本町への影響はあるのか。

地方では、民間や自治体レベルでの文化交流の広がりなどで、友好関係を構築してきた。元徴用工問題は、日本政府は個人による補償請求の権利は否定していない。意見の違いは話し合いにより、一日も早く解決するべきである。



米子ソウル便が運休に

【町長】町内の大手旅館では、7月の韓国からの宿泊数は、昨年対比で180人減少、一昨年対比で350人減少している。今後、他国からの顧客拡大策など、国や県で働きがあれば運動して取り組む必要がある。

日韓関係の悪化が深刻さを増す中、両国政府に

は、問題解決に向かう協議の進展を願うとともに、個々の関係の継続に努め、交流を通じて友好の機運を支えていただければと考えている。

町民インタビュー

「私が湯梨浜町に移住した理由！」

地域おこし協力隊

青木 真琴さん（宇谷）



こんにちは。

6月より湯梨浜町で地域おこし協力隊をしております、青木真琴です。

地域おこし協力隊としての仕事は、情報発信とイベント企画をしております。

私は4月に大阪から移住してきました。大阪はたくさん人がいるのに孤独を感じている人がたくさんいます。私も人とのかわわりを避けていた時期がありました。何をやってもうまくいかず、落ち込んでいました。

そんなとき、10日ほど湯梨浜町に滞在し、毎日子どもたちと海を散歩していました。そうしたら悩んでいることがちっぽけになり、元気がわいてきたんです。そのとき、初めて「自然の力ってすごい」と感じて移住を決めたんです。

現在、地域おこし協力隊の他に、ラジオのDJ&起業女子のメンタルコーチもしていて、イベントや講座なども開催しています。10月には、湯梨浜まちゼミで初めて講座も開催しました。

地域おこし協力隊として、さまざまな方とかかわりながら「一歩踏み出したい」そんな方の応援もしていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします！



議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。

議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

編集後記

残暑の厳しい夏も過ぎ、秋を感じさせる季節となりました。

近年は、多くの気象災害などで、全国各地に甚大な被害をもたらしています。

昨年は、本町も台風などの大雨により、東郷池周辺の浸水被害や、町内各地の農地、道路の崩壊など多くの被害がありました。現在も引き続き修繕工事が行われている状況です。

私たちも、いざという時に適切な行動がとれるよう、日頃から防災に関する知識を身につけることも大切なことです。

改めて危機管理の重要性を感じる今日この頃です。

（記 河田）

【編集】

議会広報常任委員会